

- 管内 檜山管内
- 分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 体験的な活動を取り入れた交通ルール・マナーの習得
- 地元のドライバースクールと連携した体験的な活動等を取り入れた交通安全教室の実施

取組の実際

ねらい

- 交通ルール・マナーに関する理解や関心を高め、交通規則を守り事故防止に努める。
- 体験的な活動を通し、安全な歩行の仕方や自転車の乗り方を習得し、事故防止に努める。

内容

1 交通ルール・マナーの習得

児童の交通安全に関わり、隔年で全校一斉に「青空教室」を開催している。

今年度は、体験的な活動を通して、交通ルールやマナーについての理解や関心を高めることをねらいとした。

全体指導において、飛び出し実験、車種別の死角特性の説明を行い、学年ごとにビデオ学習と自転車実技訓練と歩行訓練を行った。

2 安全な歩行と自転車乗車の習得

重点指導事項を定め、地元のドライバースクールの敷地を利用して、実践的な歩行訓練及び自転車実技訓練を行った。重点指導事項を明確にすることで警察等の関係機関と協力して、児童の交通安全への意識を高められた。

<重点指導事項>

- ①安全な自転車の乗り方
- ②交差点での横断の仕方
- ③横断歩道のない場所での横断の仕方
- ④上り坂や下り坂での乗り方
- ⑤路上駐車している車の通過の仕方

全体指導 10:00~10:40	①飛び出し実験 ②車種別の死角特性
学年別指導① 10:40~11:10	ビデオ学習(第1,5,6学年) 自転車実技訓練(第2,3,4学年)
学年別指導② 11:10~11:40	ビデオ学習(第2,3,4学年) 歩行訓練(第1学年) 自転車実技訓練(第5,6学年)



【自動車の死角について説明の様子】

成果と課題

- 飛び出し実験やビデオ学習により事故の恐ろしさを知り、自ら交通安全を守ろうとする意欲を高めることができた。
- 歩行訓練と自転車実技訓練により、見通しの悪い道から横断することなどの危険性について理解することができた。
- 交通安全教室での学びを日常の交通安全に活かせるよう、教育課程の編制・実施・評価・改善に努める必要がある。